

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民へのお願いについて

記者クラブの皆様にはお集まりいただきましてありがとうございます。まずはじめに、医療従事者の皆様には、通常の医療に加え、新型コロナウイルス感染症の治療やワクチン接種の最前線で治療に当たられていることに、心から感謝を申し上げたいと存じます。また、感染症の拡大防止のため、「新しい生活様式」などの実践に日々ご協力をいただいております市民の皆様、各事業者の皆様に対しても、心から感謝を申し上げたいと存じます。県が、8月23日に「まん延防止等重点措置」の適用を政府に要請したことにより、本市におきましては、適用対象地域になることを前提として対策を検討したところではありますが、このたび、政府において見送られたところでもあります。県内において、県が独自の「緊急事態宣言」を継続中であり、また、8月21日時点で、県内における確保病床の使用率が67.1パーセント、療養者数が人口10万人に対し23.8パーセント（正しくは「人」となり、県では医療提供体制のひっ迫が、今後、見込まれる状態になっております。

本市におきましては、県の「緊急事態宣言」に合わせた対応として、市民の皆様に「不要不急の外出の自粛」を求めるほか、8月19日から、市の施設の原則休館やイベントの開催自粛に取り組んできたところでもあります。

本市は、市独自の感染状況の区分を「フェーズ4」としており、現在、その特徴として、従来株よりも感染しやすく、重症化しやすいデルタ株の検出が県内でも増えており、特に、従来かかりにくいとされた30代以下の若い世代が、8月には、感染者の約6割を占め、感染者数の増加を底上げしている状況にあります。

また、若い世代は、重症化しないと言われてまいりましたが、状況は大きく変わり、重症の症例も報告されており、り患して大変苦しい症状に見舞われる方も出てきております。中には、感染後に「脱毛」「けん怠感」「気持ちの落ち込み」「嗅覚・味覚障害」などの後遺症が続いて、苦しむ方もいると聞いております。

若い世代の方に、決してこの感染症を甘く見ないことを、是非、お願いをしたいと存じます。また、ワクチン接種を2回済ませた方々においても感染症対策を怠らないこと、以上、2点を強くお願いしたいと思います。

り患して本人が後悔するばかりではなく、感染力が従来より強いことから、家庭にウイルスが持ち込まれると、家族全員がり患することも特に多くなっています。あらためて、ご家族とともに基本的な感染予防対策の徹底をお願いします。また、「新しい生活様式」に沿った行動の変容が確実にできているかどうかを、ぜひ、ご本人、ご家族、職場の同僚、ご友人などと、認識を共有していただくよう、強くお願いいたします。

具体的な感染の場면을盛岡市の最近の実例から取り上げ、一部を紹介いたしますが、

- ①県外からの帰省や冠婚葬祭において、普段会わない親族と久しぶりに会い、マスクを外して会食した場面
 - ②部活動で、閉鎖された部室で感染し、症状が出ないため、部活以外でも仲のいいグループで会話が弾んでしまい、更に感染を広めた場面
 - ③バーベキューで、屋外で食事をしているという油断から、大声で会話をして感染した場面など
- このように、変異株においては、予防の対策に「スキ」があれば、すぐに感染が広がってまいります。

現在、「不要不急の外出の自粛」により、感染の機会をできるだけ遮断することが、ワクチン接種

とともに感染の拡大をとどめる決め手となりますことから、自分をはじめ家族などの大切な人を守るため、しっかりと取り組んでまいりましょう。

次に、今後の対応として「新型コロナウイルス感染症に係る盛岡市の対応方針」に基づくフェーズ4の状況を踏まえ、次の5点に取り組んでまいります。

1点目として、先ほど例示した場面などを、市民の皆様幅広く知っていただくため、市のホームページや広報もりおかに加えて、新聞等の媒体を活用するほか、市民の特に若い世代に向けて現在の危機的な状況を伝え、行動の変容につながるような情報を発信するため、市のFacebook, Twitter, YouTubeなどのSNSを活用し、若い世代に訴えていけるよう、具体的な感染例を挙げての情報発信を行ってまいります。

2点目として、学校を介した感染の展開も危惧されるところであり、修学旅行や部活動の対外試合などについて自粛するほか、小・中学校の教職員や保健師（正しくは「保育士」）の方々へのワクチン優先接種についても、積極的に執り進めてまいります。

3点目として、本年6月から7月にかけて実施した「定期的なPCR検査」について、感染の拡大が見られた場合に再開することとしておりましたが、現在の感染状況を踏まえ、積極的に感染患者を早期に探知することで、施設内でクラスターが形成されることを防ぐため、高齢者施設、児童福祉施設、障害者福祉施設等871施設の従事者9,632人（正しくは「9,633人」）を対象として、来週8月31日から実施してまいります。

4点目として、無症状の感染者の早期発見による感染拡大の防止や、新型コロナウイルス感染症の確認に対する市民のニーズに対応することを図る観点から、PCR検査センターをプラザおでつ内への設置に向け、準備を進めているところであります。

5点目として、経済対策についてですが、飲食店など事業者の皆さまには、新型コロナウイルス感染症の長期化で、深刻な経営状況が続いているものと存じております。市としては、この事態を乗り越えるため、新たな対策を取りまとめ、追加の独自支援策を講じてまいります。

市民の皆様には、我慢とご苦勞をおかけいたしますが、地域医療の崩壊を防ぎ、命と健康を守ることが、今、求められる重大な局面でありますことから、何卒、ご協力をお願いいたします。

令和3年8月26日 盛岡市臨時記者会見議事録より抜粋